

2024年3月25日
イオンタウン株式会社

「イオンタウンデッキしおがま」が誕生

しおがま
塩竈市津波避難デッキのネーミングライツを取得いたしました

イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：加藤久誠、以下：当社）は、塩竈市とネーミングライツについて契約を締結し、2024年3月24日（日）に契約締結式を実施いたしました。これにより、津波避難デッキ（通称：マリンドッキ塩釜）の名称が「イオンタウンデッキしおがま」となりましたので、お知らせいたします。

「イオンタウンデッキしおがま」は、JR本塩釜駅と松島観光客船の発着所「マリゲート」をつなぐ津波避難用デッキです。当社が運営するショッピングセンター、イオンタウン塩釜の2階にも接続しており、東日本大震災の経験をきっかけとして、2015年に設置されました。災害時、地域住民はもちろん、観光や車の運転中の方々もいち早く避難できる施設である他、年間約120万人が訪れる塩竈の「玄関口」で、市の復興、安全・安心のシンボルとなっています。

今回のネーミングライツ取得により、国道45号線から見えるデッキ桁面の他、市内18か所に設置されている津波避難案内板に「イオンタウンデッキしおがま」の名称を掲出いたします。

当社はこれからも、塩竈市とともに、地域の活性化や安心安全で快適なまちづくりにつながる取り組みを積極的に推進してまいります。

記

1. 内 容：塩竈市津波避難デッキ名称「イオンタウンデッキしおがま」
2. 掲出開始日：2024年3月24日（日）
3. 掲出場所：デッキ桁面（2か所）、津波避難案内板（18か所）

以上



▲松島方面デッキ桁面



▲左から塩竈市 市長 佐藤 光樹 様、イオンタウン 代表取締役社長 加藤 久誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社では、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”に向けて、全社を挙げて取り組んでいます。今回の取り組みが該当する開発目標は、右図の通りです。

